

第6学年社会科学学習指導案

日 時 平成18年11月28日(火) 5校時
児 童 男9名 女7名 計16名
授業者 清水章男

1 単元名 2 わたしたちの生活と政治

(1) わたしたちの願いを実現する政治

2 単元について

(1) 本単元のねらい

本単元は、学習指導要領の目標「1(2)日常生活における政治の働きと我が国の考え方及び我が国と関係の深い国の生活や国際社会における我が国の役割を理解できるようにし、平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きていくことが大切であることを自覚できるようにする」の内容を扱う。

ここでの主な学習内容は、国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していることを調査したり資料を活用したりして調べ、国民主権と関連付けて政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを具体的に考えるようにすることである。

事例としては、身近な公共施設の建設、地域の開発、災害復旧の取り組みなどの中から、比較的どの地域にも見られる公共施設の建設を取り上げる。事業の規模や予算、計画から完成に至るまでの経過に着目し、市が地域の実態に応じて、住民の願いを取り入れながら、国と協力したり長期的な見通しを立てたりして望ましい施策を決定し、実行していることを調べ、国民生活には政治が大切な働きをしていることを考えることができるようにする。

(2) 教材について

ここでは、身近な公共施設建設の事例の中から、二戸市が中心となって推し進めた「シビックコア地区整備事業」を取り上げる。「シビックコア地区整備事業」とは、官庁施設の整備や都市整備事業を重点的に実施することにより、地域の特色や創意工夫を活かした街づくりを支援するために創設された制度である。二戸市のまちづくりは、昭和58年の土地区画整理事業調査から始まり、シビックコア地区整備制度が始まる平成5年までに、二戸市や田中館愛橋会などが参加したまちづくり委員会で話し合いを進めてきた。二戸市のシビックコア地区整備事業は、点在する国や県の施設を合同庁舎として一つにまとめることや田中館愛橋記念館を作りたいという住民の願いを取り入れながら計画が策定された。そして、地方拠点委員会やシビックコア地区整備計画策定委員会が何度も開かれ、平成9年に国から承認を得て事業が始まった。その際、施設の代表者や国、県、市の担当者、地域住民が参加した推進連絡協議会で景観や相互利用について話し合いを持ち、まちづくりが進められていった。シビックセンターは、人を集める施設として田中館愛橋記念科学館だけでなく、地域交流センターや多目的広場を有し建設された。平成8年に着工され、総事業費20億5千万をかけ、平成12年に完工の運びとなった。市主導の土地区画整理事業の他に、住民の願いを取り入れながら話し合いが進められたことや住民参加で計画が実行されていったこと等を具体的に調べ、政治の働きについて考えさせていきたい。

(3) 児童の実態及び指導観

これまで、人物や文化遺産に視点をあてて、その時代に起こった事件や出来事・文化などを調べながら歴史学習を行ってきた。子どもたちは、調べる課題が焦点化しているとき、活動に意欲的である。また、学習内容を分かりやすく工夫してノートにまとめたり、グループで自分の調べたことを相手に伝えたりする力が伸びてきている。しかし、自分の調べたことを伝えるにとどまり、調べた内容や考え方の相違をもとに議論する等、見方や考え方を広げたり深めたりするには至らないことが多い。

そこで、本単元の指導にあたっては、問題解決的な学習や見学を取り入れ、子どもたちが主体的に

学習に取り組み、学ぶ楽しさを味わいながら追究し、日常生活における政治の働きについて理解できるように指導していきたい。また、追究したことを出し合い学び合う場を設け、調べた事実をもとに考え合うことで見方や考え方を広げたり深めたりしていきたい。そして、一連の学習活動を通して、自己評価活動や相互評価活動を促し、自己のよさや成長に気付かせることによって一人一人の学びを高め、確かな考えをもたせるようにしていきたい。

3 単元の目標

- (1) 公共施設の建設や政治の働きに関心を持ち、センターが建設されるまでの経過を進んで調べている。
(関心・意欲・態度)
- (2) 公共施設の建設に、地方公共団体や国の政治の働きと国民生活とのかかわりを国民主権と関連付けて具体的に考えることができる。
(社会的な思考・判断)
- (3) 公共施設や市議会などの見学や聞き取り調査を行ったり収集した資料を活用したりして、政治の働きと国民生活の関係を、文章や図などを用いて表現することができる。
(観察資料活用の技能・表現)
- (4) 国民生活の安定と向上を図ろうとする議会政治の働きや選挙の意味、租税の役割などが分かる。
(知識・理解)

4 指導と評価の計画(8時間)

時	学習内容	評価規準
1	シビックセンターの建設には、市だけでなく、住民の願いや県、国のかかわりがあることを知る。	・公共施設の建設に関心を持ち、意欲的に調べようとする。(発言・ノート) 【関心・意欲・態度】
2	シビックセンターを訪ね、見学や利用者、管理者への取材などから分かったことをノートに整理する。	・目的に応じた見学や調査活動をし、分かりやすく整理してまとめている。(様子・ノート) 【観察資料活用の技能・表現】
3 (本時)	シビックセンターの建設について、住民の願いや市、県、国、議会などの政治の働きのかかわりをまとめる。	・市が住民の願いを取り入れ、県や国とかがわりながら施設の建設を進めていったことを、調べたことや友達の意見をもとに考え、判断している。 【社会的思考・判断】
4	シビックセンター建設をもとに、市議会の働きや仕事を調べる。	・シビックセンターの建設を調べることを通して、市議会のはたらきや仕事について理解している。(ノート) 【知識・理解】
5	シビックセンターの建設費用と税金の関係から、税金の働きについて調べる。	・シビックセンターの建設などの政治の働きと税金の関係について理解している。(ノート) 【知識・理解】
6	自分たちの調べた地方の議会と比べながら、国会の働きについて調べ、国の政治の働きをとらえる。	・なぜ国会は二院制なのかを考え、より慎重に審議されていることに気付くことができる。(発言) 【社会的思考・判断】 ・市議会と国会の共通点や相違点を理解している。(ノート) 【知識・理解】
7	選挙に意味について調べ、国民が主催者として政治に参加するために、選挙が大切であることを理解する。	・選挙のしくみについて意欲的に調べようとしている。(発言・ノート) 【関心・意欲・態度】 ・教科書の写真やグラフを見て気づいたことや思ったことを発表できる。(発言) 【観察資料活用の技能・表現】

8	<p>学習を振り返り、公共とはどのようなことなのかを考え、公共をより良くしていくために必要なことを考える。</p>	<p>・「みんな」の中には、立場や考えが違う人々もいることに気付き、国や地方公共団体の政治の働きを、国民生活と関連させて考えることができる。(発言・ノート) 【社会的思考・判断】</p>
---	---	---

5 本時の指導

(1) 目標

シビックセンターがどのようにして建設されたのかを調べることを通して、国民生活には政治が大切な働きをしていることを考えることができる。

(2) 構想

前時までに、児童は、シビックセンターが建設されるまでには、二戸市だけでなく市議会、国、県、住民が関わってきたことを学習しているが、それらが具体的にどのようにかかわっているのかについて十分に捉えられていない。

そこで、本時は、インタビューのメモをもとに、学級全体で話し合いながらそれぞれのかかわりを矢印でつなぎ、その意味を考えさせながら関係図に表し、市議会、国、県、住民のかかわりを捉えさせていく。そして、二戸市が住民の願いを取り入れながら政治の働きによって建設を進めていったことに気付かせたい。本時の学習は、この後の市議会や税金の働きなどの学習につながっていく。

(3) 展開

段階	学習活動と内容	指導上の留意点	資料
課題の把握	<p>1 シビックセンターの見学を振り返りながら話し合い、本時の学習課題をつかむ。(5分)</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px;">シビックセンターができるまでをまとめよう。</p>	<p>・シビックセンターの建設には、二戸市や県、国、住民などがかかわっていたことを想起させ、それぞれがどのようにかかわってきたのかをまとめることを確認する。</p>	
課題の追究	<p>2 シビックセンターがどのようにして建設されたのか予想し、話し合う。</p>	<p>・これまでに調べたことをもとにしながら、建設までの経緯や県、国、住民などがかかわりについて予想して話し合わせる。調べたことをただ発表するのではなく、考えの根拠を問いながら、それぞれをつなぐ矢印の意味も考えさせたい。</p> <p>・発表を聞きながら、教師がそれぞれのかかわりを関係図に表し、子どもたちの考えを整理していく。</p>	見学メモ
	<p>3 シビックセンターがどのようにして建設されたのか確かめる。</p>	<p>・市職員の話から、計画が検討され建設されるまでの経緯や県、国、住民などがかかわりについて確かめる。自分たちが予想した考えと実際の様子を比較しながら聞かせるようにする。</p>	市職員の話(テープ)
	<p>4 住民の願いがどのように取り入れられたか調べる。(30分)</p>	<p>・市や住民などが話し合った検討会を取り上げ、計画が確定するまでに何度も会議が開かれ、みんなのためのよりよい施設をつくるために住民の考えが取り入れられたことに気付かせる。</p>	シビックセンターができるまで(図)
まとめ	<p>5 本時の学習を振り返り、自分の考えをまとめる。</p>	<p>・学習を振り返りながら、新しくわかったこと、友達のよさ、感想等を書かせることにより、自分の</p>	

め・発展	(10分)	考えの変容や高まりを捉えることができるようにする。望ましいまとめ方をしている子どもを取り上げ、発表させることでよさを広めたい。	
------	-------	---	--

(4) 評価

観点	具体の評価規準		努力を要する児童への手立て
	おおむね満足できる(B)	十分満足できる(A)	
社会的思考・判断	市が住民の願いを取り入れ、県や国とかかわりながら施設の建設を進めていったことを、調べたことや友達の意見をもとに考えている。	市が住民の願いを取り入れ、県や国とかかわりながら施設の建設を進めていったことを、調べたことや友達の意見をもとに手順やかかわり方等、多面的に考えている。	市や県、国、住民がどんな役割を果たしたかを問いかけるなどして、考える方向や糸口が見出せるように具体的に指導・支援する。

(5) 板書計画

